

教育広報

いわみざわ市の教育

…特集…

君の輝く笑顔のために

～青少年センターの登校支援について～



『全国大会へ向けて猛特訓！！』

全国大会へ出場することに決まった、光陵中学校剣道部の練習風景です。

君の輝く笑顔のために

『青少年センターの』

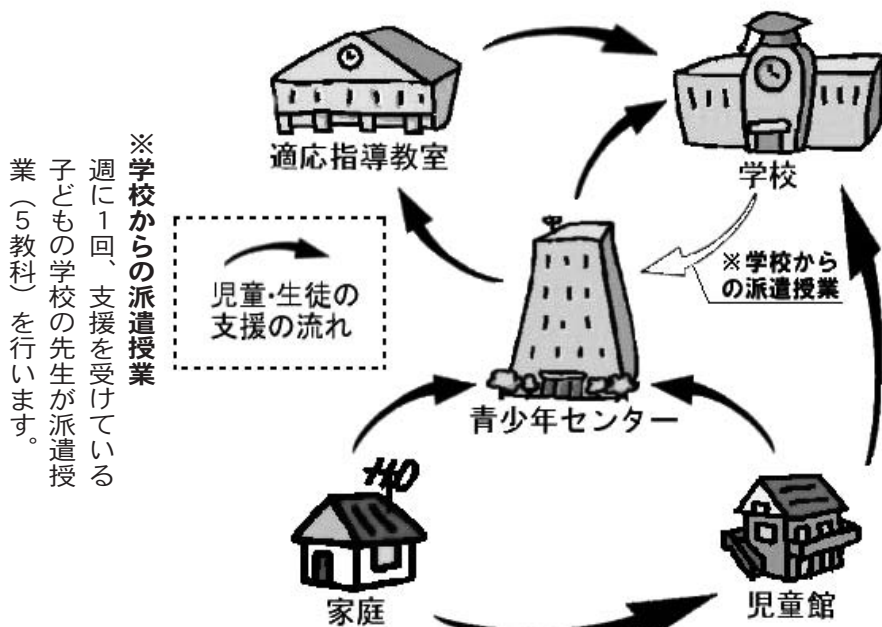
登校支援について

青少年センターって？

岩見沢市教育委員会では、「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」という大きなスローガンのもと、「全ての子どもが輝く」ことができるように取り組んでおります。そこで、平成21年度から、何らかの事情で学校に行けない状態にある子どもたちに対して、青少年センターを中心として学校・家庭・地域が連携して行う、ネットワーク型の「登校支援事業」を立ち上げました。（下記イラスト参照）

その内容は、不登校が長期化している子どもに対し、家庭への訪問支援からはじめ、個別支援が可能な青少年センターや、地域の子育ての拠点でもある児童館での支援へと発展させ、最終的には学校復帰へと導くため、子ども一人ひとりへ個別に対応を行うものです。

現在、センターの職員は5名体制で行っており、職員のほかに、大学生や大学院生など数名が、支援スタッフとして参加しております。



○児童・生徒への登校支援の流れ

こんな活動をしています。

青少年センターでは、学校の時間割のように、毎週カリキュラムを用意し、一日を通して活動をします。これは、学校復帰に必要な集団活動の訓練として行っており、子どもの状況に合わせて実施しています。

○「学習支援」

個別の学習支援を行う空間を設けています。各机にはパソコンがあり、インターネット等を利用した学習も行えます。また、子どもの学習状況に合わせた支援も行います。



学習部屋の様子

○「菜園活動」

岩見沢市が行っている「ふれあい農園」を活用し、広さ9㎡の畑を一人ずつに用意し、好きな野菜を育てています。種まきから収穫まで、自分で責任を持っています。最後まで世話をしています。

この活動は、子どもたちの感情を豊かにすることを願っています。



菜園活動の様子

○「体育」

体力づくりのため、教育研究所小体育館で、バドミントンや卓球、ミニバレーボール等を行っています。また、ゴルフ練習場の経営者の方から、センターの支援活動に理解をいただき、練習場をお借りしてゴルフ練習等も行っていきます。



卓球の様子

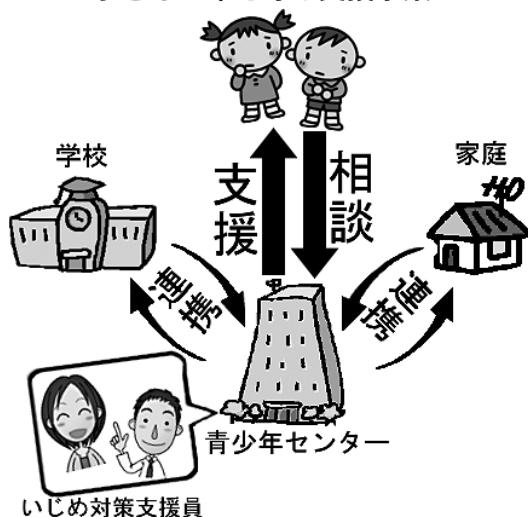
子どもの命を守る支援事業

いじめに悩んでいる子どもへの支援

来年度より青少年センターでは、「子どもの命を守る支援事業」として、新しい支援を行います。

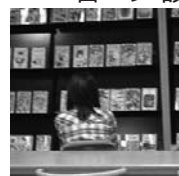
今までの支援に加え、悩みを抱えた児童・生徒から直接相談を受け付ける体制を整えます。

子どもの命を守る支援事業



○「読書」

センターの隣には、講談社の「青い鳥文庫」があり、ここの責任者の方からも、支援事業に協力、連携を申し出ていただきました。写真にある本棚の本は、子どもたちが自由に利用でき、学習部屋に設置されているパソコンで、この「青い鳥文庫」の電子書籍を自由に利用することもできます。



読書の様子

○「陶芸」

市内にある窯元で、マグカップや茶碗など、色々な作品づくりにチャレンジしています。モノを作る楽しみを子どもたちは学んでいます。

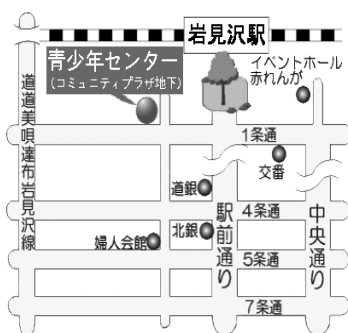


陶芸の様子

○「囲碁」

興味を持った子どもが、市内の碁会所に通わせて貰っています。会員の方から囲碁を教わり、みるみる腕前を上げています。

【問い合わせ・相談先】



青少年センター（所長：佐藤 進）

有明町南1番地20

コミュニティプラザ地下一階

相談受付日時

土日祝日を除く毎日

午前9時から午後4時30分

電話 33局3333

FAX 25局0777

いっしょにやってみよう...

「学校へ行く気持ちになれない」

「学校にいるとつらい」

という子どもたちへ

家族の人や担任の先生とよく相談して、どうしても学校へ行けないときは、迷わず青少年センターへ連絡してください。先生がゆっくりあなたの気持ちを聞いてくれます。最初は、家庭での会話や遊び、学習などを行い、慣れてきたらよい青少年センターや児童館で支援員と一緒に活動を始めていきます。あわてることはありません。自分のペースで、好きなことや得意なことから始めてください。

センターには、同じような悩みやつらさを抱えた仲間がいます。その人たちとも、ゆっくりだけど、一緒に話をしたり遊んだりできるようになります。

教育活動 学校自慢



保護者や地域と

連携した教育活動の推進

中央小学校

中央小学校では、地域や保護者の皆さんによる活気のある教育活動が展開されています。

○中央っ子を守り隊大人の目作戦

登下校時の児童の安全確保をねらいとした取り組みで、地域住民の方約200人が協力しており、年間38日の一斉行動日を設定し児童の見守りを実施

○地域ドッジボール大会

地域児童の交流をねらいに、校区9町会育成会による子ども地域連絡運営委員会の企画による活動を実施

○放課後学習

算数の計算力の確実な定着と自主的な学習の場の提供をねらい、地域に住む元教員の方の協力で週2回実施（約115人の児童が参加中）

この他にも図書ボランティア（朝の読み聞かせな

（放課後学習の様子）



どの読書推進活動）、コッ
トンワーク・ビス（子ども
もと手作りを楽しむサー
クル活動）、シャボンティ
ア（廃油石けんづくりに
よる教育活動への協力）
など、子どもたちがすこ
やかに成長することを目
的にさまざまな活動が行
われています。

読書の世界を広げる

南小学校

（読み聞かせの様子）



南小学校では豊かな読書活動の充実に向けて、読書環境の整備・拡充や活動時間の確保を図っています。

図書室の他にも、一階の廊下・校長室などに文庫を設置して子どもが読める環境を整えています。平成18年からは、読み

聞かせボランティア『絵♥とも』の皆さんにご協力をいただき、毎週火曜日の長休み時間を利用して、読み聞かせや年に一度ある、大型紙芝居・大型絵本・パネルシアターなどを使った、児童の読書への関心を高める取り組みが続けていただいています。また、PTAの皆さんや地域ボランティアの方々には図書室の整備や本の修繕などのご協力をいただいています。

（パネルシアターの様子）



南小学校では、多くの地域の皆さんに支えられ、子どもたちが自然に本の世界に入っていける環境が整っています。

特色ある教育



市内26の小・中学校・市立高校を順に紹介していきます。

豊かな心の育成を目指して

上幌向中学校

（「平和を考える」日の様子）



した。そして、何よりも命の尊さ、平和の大切さ、戦争の悲惨さを学び、このお話は生徒達の貴重な財産となる時間になりました。

そのほか、総合的な学習の時間のテーマを「生き方学習」とし、今年度より、

1年生は岩見沢市内の保育園や病院など、9ヶ所の施設で職場体験をさせていただきました。生徒たちは、勤労感や職業感を体験しながら有意義な時間をすごすことができました。

上幌向中学校では

毎年、「平和を考える」日を設定し、講師を招き実施しています。

今年度は、元沖縄戦の女子学徒隊、沖縄在住の仲里ハル（84）さんを講師に招き、全校生徒に従軍していた当時の体験談や仕事のお話しをいただきました。

世界のひとと

コミュニケーション

清園中学校

（交流会の様子）



清園中学校では、未来を担う存在である生徒たちに、国際理解教育を行っており、本校の特色の一つとなっています。2年生の総合的な学習の時間『国際理解』の授業は、

JICA札幌と連携して、様々な技術を学ぶために訪日している方々を迎え、生徒が自ら交流会を企画・運営し、実施しています。今年は、ブラジル、ジンバブエ、スリランカ、マラウイ、サウジアラビアの5カ国から7名が来校しました。交流会では、各国の生活について学び、羽根つき、だるまさん転んだ、かるた、福笑い、竹馬、お手玉などの日本の遊びを一緒に楽しみました。

この活動で、生徒は自分たちで調べた英語で身振り手振りを交えながら会話し、コミュニケーションを深めました。その中で、各国の文化の違いを理解し、自分たちを取り巻く社会について考える、貴重な体験をしました。



（職場体験の様子）



（交流会の集合写真）

市P連 の活動

「今こそ熱く伝動よう」
つたえ

子どもが輝く明日のために」

市P連の毎年恒例となっている事業「PTA連合会教育懇談会」は、この想いをテーマに、今年度の11月26日（金）に開催されました。

今年度、市P連では特に「ことば」を一つのキーワードとして活動を行っ



てまいりました。まず初めに、8月末に開催された研究大会で「ことば」を子どもたちが未来に向かって輝く

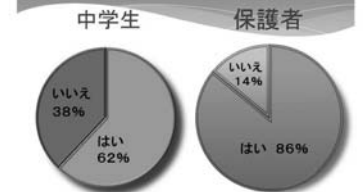
ための「ご馳走」として設定し活動を行いました。そして、今回の懇談会ではその「ことば」が子どもたちの輝く未来の芽を摘みかねない「言葉の暴力」となったら・・・という問題提起を行い、子どもの携帯電話所持について、「今こそ親として、また、一人の大人として早急に皆で考えるべきである！」と本事業の展開に全力を尽くして取り組んでまいりました。

近年増加傾向にある携帯電話でのトラブルについて、TVや新聞で見かけるものは、主に大都市でのことです。しかし、携帯電話を使用するにあたり、トラブルに巻き込まれる危険性は、大都市でも岩見沢市でもまったく変わりません。連日報道される携帯電話トラブルは、全く他人事ではないのです。実際に起きた被害状況を知ると、びっくりするような内容で愕然とするばかりです。

本事業を進めるにあたって、まずは市内の現況を把握する必要があると考え、市内の全小・中学校25校の協力を得て、全児童・生徒、そして保護者を対象にアンケートの実施をさせていただきました。そして、その貴重なアンケートの集計結果を「PTA連合会教育懇談会」の場で報告し、市内の現状について確認しました。

ここでは、集計したデータの中から

家庭でルールを決めていますか？



ら一つをご紹介します。上記の図は、各家庭での携帯電話使用時におけるルールの設定について、中学生

全体と保護者の認識の違いを表したものです。ここには載せていませんが、学年別の数値となると、上の学年にくくほど、保護者との『はい』の数値のひらきが大きくなります。

また、市内の各学校では、既に様々な危機意識をもって児童・生徒や保護者を対象とした講習会や講話、取り組みを積極的に進めてくれております。懇談会の場では、その代表として3校が実際の活動を報告、紹介していただきました。

総括として、本事業を担当する教育環境委員会では、携帯電話の利便性、所持しなければならぬ各家庭での事情などを考慮し、その必要性は否めないとしても、児童・生徒の携帯電話トラブルの現況を鑑みると、市PTA連合会として、

「岩見沢市内 小中学校での携帯電話所持について 原則禁止を推進する」と宣言しました。

さまざまな意見、さまざまな判断は

あるかと思いますが、携帯電話を子どもたちが持たせる理由、大変便利なツールとして進化し続ける優れたグッズとして思う以上に、もし、例えば子どもたちが被害に巻き込まれたら、加害者になってしまったら・・・。そうした携帯電話の持つ危険性の方が、便利さを遙かにしのぐ深刻な状況と考えました。そうせざるを得ない現実が、アンケート結果からも十分に見て取れるからです。

今こそ 私たち大人が しつかりと子どもたちに向き合い、熱く伝導していく・・・

次年度以降も市P連は、子どもたち一人ひとりが、さらに輝く岩見沢を想い、本事業での宣言を引き継ぎ、活動を進めてまいります。

問い合わせ先

岩見沢市PTA連合会事務局

事務局長 吉田 政和

（北真小学校 教頭）

TEL 22局 5383

FAX 22局 9754



スポーツを通じた 青少年の健全育成

岩見沢市スポーツ少年団本部

スポーツ少年団とは、財団法人日本体育協会が、「多くの青少年にスポーツの喜びや楽しさを伝え、スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てる組織を地域社会の中に作る」という理念のもとに創設されたスポーツ

クラブです。

岩見沢市のスポーツ少年団は、昭和37年に設立され、現在、25団体567人の団員と107人の指導者・役員により活動しています。少年団の競技種目別では、野球が11団体、バレーボールが8団体で、柔道・ソフトテニス・水泳・テニス・剣道・スキージャンプが各1団体となっています。

各少年団は熱心な指導者のもと、それぞれが自主的で主体性をもって活動をしています。今年は、剣道で鉄北剣道スポーツ少年団が団体と個人で全道



大会に出場、バレーボールでは、H O R O M U Iスポーツ少年団（男子）が全道3位に、志文ファルコンズスポーツ少年団

（女子）が全道優勝し、今年の3月に三重県で行われる全国大会に出場することになっています。



その他の少年団も着実に力をつけ、各種大会で元気に頑張っています。

また、毎年11月にはスポーツセンタにて、市内のスポーツ少年団の交流大会として、各少年団対抗のゲーム戦を開催し楽しんでいます。多くの保護者の応援のもと、各少年団の名譽をかけ、手に汗握る熱戦を繰り広げながら各少年団との交流を深めています。子どもの体力については文部科学省の報告で、子どもの肥満・運動不足が顕著になっており、昭和60年頃をピークとして全ての体力要素が低下していると報告されています。

その意味でも、スポーツ少年団の活動を通じて、多くの子どもにスポーツの楽しさやスポーツを通じた仲間との連帯や友情を学んでもらい、スポーツで楽しく健康に成長してくれることを願っています。また、生涯スポーツの大切さも子どもたちに育んでいきたいと思っています。各少年団への加入をお待ちしております。

日本の伝統文化 "和敬清寂"を学ぶ

裏千家茶道

中国から渡来した茶が、単なる飲茶の風習から茶道へと確立されたのは、千利休により茶のこころが「和敬清寂」の四文字に集約され、客人を思いやりもてなすこころ、美術工芸品である道具や自然の美しさなどを取り入れ、茶を総合的な文化、一つの芸術へと完成させたためです。

裏千家岩見沢支部は、昭和28年に発足して以来、多くの指導者が輩出されており、毎年行われる研修会や支部三行事、更には日頃の修道でも、他者への感謝を忘れず修道に励んでいます。そのためか、最近ではお茶菓子に足りなくなるほど、多くの方が茶会に参加していただいております。昔よりも茶道を身近に感じていただいております。また、学校が週5日制で土曜日が休



みになったのを機に、市内の小学校に「お茶をしてみませんか」との案内をしたところ、はじめは少

数でしたが、次第に参加希望者が増え、今では30名を超える参加者が集まっております。保護者の方同伴での参加もあり、おじぎの仕方や歩き方、床の拝見にお茶の点て方などはじめての体験に喜んで、熱心に稽古を受けてくれるようになりました。



この茶会は年12回行っておりますが、開会式と閉会式に参加して下さった市教委の方や文化連盟の会長様方から、子どもたちの成長ぶりを見て、その見違えるような進歩に驚きとお褒めの言葉をいただきました。現在では、春夏秋冬に各1回ずつ、その時々テーマによって、場所の設定から道具の取合わせと、指導者が知恵を出し合いながら、指導に当たっています。

日本人には敷居が高そう、と敬遠されがちな茶道ですが、外国の人には日本の文化を学ぶのには、茶道が一番早道と、お家元ではたくさんの方々が積極的に勉強を行っております。衣食住、すべての生活文化を学ぶことのできる茶道を、是非皆さんにも触れてみていただきたいと思います。

指導室から

「相手がよろこんでくれる。そうすると自分もうれしい。それが『おもてなしの心』です！」

民間から登用された全国初の女性校長であるその方は、自らの教育方針を熱く語られました。

先般、大阪府のある小学校を訪問する機会がありました。

その校長は、4月に赴任した際、自校の子どもたちがきちんとしたあいさつができないことを大変残念に思ったとのことでした。

「まず相手の目を見る。きちんと頭を下げ、声を出す。再び目と目を合わせる。そして微笑む。」など、『相手に対して敬愛の念（おもてなしの心）で接することが大切である。』と話されました。その校長の思いを、まずは教職員が見本となり実践したそうです。

実際、廊下ですれ違った子どもたちは、どの子もきちんと立ち止まり、前述のあいさつをごくごく当たり前に行っていました。もちろん「微笑む」こともしっかりと・・・。

後に、前職を伺ったところ、あらためてその姿勢に納得させられました。あの東京ディズニーリゾートを運営す

る会社の役員であったとのことでした。

「自分が相手に何かを望むのであれば、まずは自分から相手のために尽くす。」

これは、家庭内においても言えることでしょう。

まもなく年度末。子どもたちにとっては、卒業・進級・進学を向かえる時期でもあります。

新たなステージへと向かう子どもたちに、今一度、相手を思いやる『おもてなしの心』を大切にして育てていきたいものです。

家でできる 簡単給食ししぴ♪ 「豆腐のカレーあんかけ」(11月の給食より)

材料(4人分)

木綿豆腐	…1丁(400g)	豚ひき肉	…80g
玉葱	…小さめの1個	にんじん	…4分の1本
米サラダ油	…小さじ1杯		
(調味料)			
しょうゆ	…大さじ2杯	三温糖(砂糖)	…大さじ1杯
カレールー	…20g	カレー粉	…小さじ1杯
片栗粉	…小さじ1杯		

作り方

- ① 豆腐は2cm角、玉葱・人参は1cm角に切る。
- ② フライパンで、サラダ油を熱し、肉・人参・玉葱を入れてよく炒め、火が通ったら三温糖・カレールー・カレー粉・しょうゆで味付けをする。
- ※カレールーは、お湯で固めに溶いておくことだまにならず作りやすい。
- ③ 水溶き片栗粉を入れてとろみを調節する。
- ④ 豆腐を入れ、崩れないようにかき混ぜる。
- ⑤ 豆腐が煮えたらできあがり。

ひとくちメモ

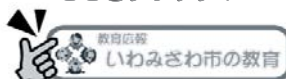
給食では、カレーが大人気です。このカレー味のマーボー豆腐風のメニューもひそかに人気です。子どもたちは迷わずごはんに「豆腐のカレーあんかけ」をかけて丼風に美味しく食べています。ごちそう続きのこの季節は、ふとカレーが食べたくになりますね。そんな時にお試ください。



これが、給食で出た「豆腐のカレーあんかけ」です。この日の献立は、
・ごはん ・ほうれん草のナムル
・豆腐のカレーあんかけ
・春巻き ・牛乳
でした、子どもたちはとてもおいしそうに食べてくれました。

教育広報のWEB版でカラー写真もご覧いただけます！
市教委HPのトップページにある、このロゴをクリックしてご覧ください。

ここをクリック！



＝ご意見・ご要望をおよせください＝
＜担当＞

岩見沢市教育委員会学校教育課情報企画係
〒068-8686

岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

☎ 0126-23-4111 (内線 416)

FAX 0126-25-2995

メール ejyouhou@i-hamanasu.jp

ちよつとミニ情報

いわみざわ

子育て支援センター

☆のびのび子育てを応援します☆

いわみざわ子育て支援センター

ターでは、子育てを応援するため、子育て相談や様々なイベント情報、遊び場や子どもを預かってくれる施設の情報などを提供しています。

子育てに困ったときは、いわみざわ子育て支援センターにご連絡ください。また、市教委HPにも子育て支援センターについての情報がありますので是非ご覧ください♪

子育ての耳寄り情報

募集中!!

子育て中のお母さんとお父さんを応援するため、子育てに関するさまざまな情報を収集しています。子育てに関する耳寄りな情報があれば、是非ご連絡ください。

みなさんからの情報提供
お待ちしております

【連絡先】 ☎ 22局 3337

